

	<p>号外</p> <p>昭和34年4月1日</p> <p>第3種郵便物認可</p>	<p>定価1部2円</p>	<p>3月15日は自治 労岩手県本部春闘 統一行動日。春闘 での賃金・職場環 境改善に向けて県 職労に結集を！</p>
		<p>発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県内 岩手県職員労働組合</p>	

2019春闘②-朝 春闘・3.14公務員連絡会人事院給与局長・職員福祉局長交渉

6年連続賃上げの好循環実現を！

住居手当は19人勧に向け改定検討の姿勢/実現に向け交渉強化

3月14日、公務員連絡会（議長：柴山国公連合委員長）は、2019春闘に係る要求書に向けた検討状況を質すため、ヤマ場となる森永人事院給与局長・合田職員福祉局長と交渉を行った。交渉団から、3月13日・2019民間春闘の大手集中回答で厳しいながらも6年連続の賃上げ回答となっていることを踏まえ、春闘期での改善を求めた。人事院は、賃金は「民間事業者の経営側の回答を注視。楽観はしていない」と慎重姿勢にとどまる一方で、住居手当は「国家公務員宿舍料の引き上げが完了し、勧告に向けて必要な検討を行い、何等かの改正を行うことを考えているが、現時点で未確定」と引上げに向けた検討姿勢を引き出した。8月国人勧で具体的改善を実現させなければならない。

超勤時間の上限規制に関し、人事院は「長時間労働是正のスタートであり、実効性あるよう必要な対応を行う」こと、定年延長は「必要な法律改正が早急に行えるよう人事院として責任を果たす。60歳以上の給与7割水準が高いという自民党行革本部の議論があることは承知するが、根拠をきちんと理解いただけるよう説明を尽くす」とした。

交渉団から、依然として具体的な改善となる回答とは程遠いことから、春闘期の最終局面となる3月20日人事院総裁交渉での要求に則した回答を強く求めた。公務員連絡会は、最終局面に向けて闘争を強化していくことにしている。

本頁内容 欠員や人事異動の諸問題は県職労へ

3月15日、定期人事異動内示が行われる。県職労として、職員の勤務・労働条件の重要な変更であることから、早期内示と職員負担の軽減を求めてきた。しかし、当局の姿勢は職員の切実な要望と乖離しており、問題と言わざるを得ない。

さらに、欠員不補充をはじめとした来年度体制の諸問題も懸念される。3月8日の春闘・人事課長交渉で昨年4月（93人）よりは一部解消も、来年度も欠員が相当数に上る見通しとなっていることから、厳しい職場実態が続く懸念が大きい。

本部でも欠員不補充等の点検を早急に行う。職場からも諸問題について県職労に一報をお願いしたい。異動困難な異動先への配転や公舎等の住居の確保難の課題も一報を。

異動者優先の着任求める

人事異動に当たり、職員服務規程で定める1週間以内の着任期間があるにも関わらず4月1日の着任を求められる実態が毎年報告されている。本年の4月1日は月曜日であることから、着任強要の懸念が大きい。3月8日人事課長交渉で「早期着任が強要されないよう、着任期間をしっかりと保障すべき」と指摘。当局から「円滑な業務の引き継ぎが行われるよう、旧所属の状況、職員の移転に係る状況なども含め、新所属と十分に話し合って実際の着任日等について決めていただきたい」との回答を確認している。

着任日は、あくまでも異動者の都合が優先されるべき。早期着任の強要等の問題がある場合には、県職労へご連絡ください。

＝超過勤務不払いの緊急点検も＝

超勤予算に関し、3月8日人事課長交渉で、人事課長は「2月補正後も昨年度を上回る予算を確保している。不足部局には適宜対応」との姿勢を引き出している。

年度末を控え、超勤不払いの撲滅と適正支給に向け、各職場でも実態点検をお願いする。不払い公所については県職労に一報を（当局に是正を求めます）。

野中やすしさんの一層の活躍を 「笑顔」輝く街『もりおか』めざし本格始動

来たる8月下旬実施の盛岡市議会議員選挙に、新たに県職労組織内候補として擁立する予定の「野中 やすし（靖志）」（55歳・新人・社民党公認予定）さんが本格始動しました。

野中やすしさんは、3月9日の自治労県本部臨時大会で、自治労組織内候補者としても圧倒的な信任を得ました。

3月14日、野中やすしさんは、社民党・小西和子県議（県職労推薦）らとともに、県議会棟前で街頭演説をしました。野中さんから、「働く者を守る、働く者と家族の暮らしを守る、平和を守る。そのためにも、盛岡市政を担っていきたい」との決意を表明しました。

「生活者・働く人の笑顔が輝く街・もりおか」の実現に向け、全力を挙げる決意です。必勝に向け活躍している野中やすしさんへの温かい御声援をお願いします。



政策を訴える「野中 やすし」さん